

早稲田大学におけるインターンシップ教育

オープン教育センター事務長
佐々木 ひとみ

本学におけるインターンシップ体制

オープン教育センター設置時から、積極的にインターンシップを導入。
2001年度から本格的に開始。

2つの窓口	オープン教育センター	教育の一環、単位認定、分野限定、約200名
	キャリアセンター	行政、国際、ベンチャー、マスコミのみ 就業体験、単位なし、すべての分野、人数不明

役割分担と連携により、大学全体で推進 インターンシップ推進チーム

オープン教育センターにおけるインターンシップの特徴

1. 分野限定 ~ 大学が後押しする必要がある分野、人材育成を特に推進する分野に対応
2. 教育の一環 ~ 徹底した事前・事後授業+報告書
+キャリアセミナー+マナーセミナー+リスクセミナー+報告会
3. 授業内容との連動 ~ 「学習」したら「実践」する
4. 新しい学生層の出現 ~
 - ・先輩の伝言「就職する前には、必ずインターンを」
 - ・全国展開～縁がなくても、自腹を切って、地方や海外で実習
 - ・自分で実習先を開拓
 - ・長期化、継続化、アウトプット型
 - ・1年からの参加、自分探し
 - ・社会の厳しさが、高い動機付けを与える

インターンシップを取り巻く環境の変化

1. インターンシップの社会の認知度
2. 大学教育におけるインターンシップの受け止められ方
3. 学生におけるインターンシップ利得感
4. 競合激化による枠の争奪、企業・学生数急増による質の低下による評価低下への懸念

以 上